

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】平成20年7月31日(2008.7.31)

【公開番号】特開2002-169218(P2002-169218A)
 【公開日】平成14年6月14日(2002.6.14)
 【出願番号】特願2001-198134(P2001-198134)
 【国際特許分類】

G 0 3 B 17/53 (2006.01)
 B 4 2 D 15/10 (2006.01)
 G 0 3 B 15/00 (2006.01)
 G 0 3 B 17/18 (2006.01)
 G 0 3 B 19/02 (2006.01)
 H 0 4 N 5/225 (2006.01)
 H 0 4 N 7/18 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 17/53
 B 4 2 D 15/10 5 0 1 J
 G 0 3 B 15/00 D
 G 0 3 B 15/00 M
 G 0 3 B 17/18 Z
 G 0 3 B 19/02
 H 0 4 N 5/225 B
 H 0 4 N 7/18 U

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月16日(2008.6.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 被撮影者の少なくとも顔画像を撮影する撮影手段と、
 この撮影手段により撮影された画像に対し所定の画像処理を施す画像処理手段と、
 複数の画像表示領域を有する表示手段と、
 前記画像処理手段の出力に基づき、現在撮影中の画像とともに、それよりも前に撮影した過去の画像を前記複数の画像表示領域にそれぞれ表示するよう前記表示手段を制御する制御手段と、

を具備したことを特徴とする撮影装置。

【請求項2】 被撮影者の少なくとも顔画像を撮影する撮影手段と、
 この撮影手段により撮影された画像に対し所定の画像処理を施す画像処理手段と、
 複数の画像表示領域を有する表示手段と、
 前記画像処理手段の出力に基づき、現在撮影中の画像とともに、それよりも前に撮影した過去の複数の画像を前記複数の画像表示領域にそれぞれ表示するよう前記表示手段を制御する制御手段と、

前記表示手段に表示された過去の複数の画像内において不具合の画像があった場合、再撮影のために当該画像を選択する画像選択手段と、

を具備したことを特徴とする撮影装置。

【請求項3】 あらかじめ撮影された被撮影者の少なくとも顔画像が記憶されている

可搬形の画像記憶媒体から前記顔画像を読取って入力する記憶媒体読取手段をさらに具備し、

前記画像処理手段は、前記撮影手段により撮影された画像あるいは前記記憶媒体読取手段により入力された画像に対し選択的に所定の画像処理を施すことを特徴とする請求項1または請求項2記載の撮影装置。

【請求項4】 被撮影者の少なくとも顔画像を撮影する第1のステップと、

この第1のステップにより撮影された画像に対し所定の画像処理を施す第2のステップと、

この第2のステップにより処理された画像に基づき、現在撮影中の画像とともに、それよりも前に撮影した過去の画像をそれぞれ表示する第3のステップと、

を具備したことを特徴とする撮影方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】